



平成 30 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 壱 番 屋
代表者の役職名 代表取締役社長 浜 島 俊 哉
(コード番号 7630 東証第 1 部・名証第 1 部)
(問い合わせ先) 専務取締役コーポレート本部長 阪口裕司
T E L 0586-81-0792

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 30 年 2 月 28 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は平成 30 年 5 月 28 日に開催予定の第 36 期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 30 年 4 月 6 日)	前期実績 (平成 29 年 2 月期)
基準日	平成 30 年 2 月 28 日	同左	平成 29 年 2 月 28 日
1 株当たり配当金	40 円	同左	17 円 50 銭
配当金総額	1,277 百万円	—	558 百万円
効力発生日	平成 30 年 5 月 29 日	—	平成 29 年 5 月 29 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(※) 平成 29 年 2 月期は 9 ヶ月の変則決算です。

2. 理由

当社の株主の皆様に対する利益配分に関する基本方針は、業績の動向および内部留保金の水準に留意しつつ、持続的な配当成長を志向することを基本としております。

この方針に基づき、平成 30 年 2 月期の 1 株当たり配当金につきましては、引き続きキャッシュフローも堅調に推移し、財務基盤の強化も一段と進んだこと等から、平成 30 年 4 月 6 日に発表いたしました配当予想のとおり、期末配当を 40 円とさせていただくことといたしました。これにより、中間配当 36 円を加えました年間配当は、1 株当たり 76 円となります。

なお、前期（平成 29 年 2 月期）は 9 ヶ月間の変則決算であり、同期の 1 株当たり年間配当金を 12 ヶ月分に換算すると 70 円となり、実質的には前期と比べて 6 円の増配となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
当期（平成 30 年 2 月期）	36 円	40 円	76 円
前期（平成 29 年 2 月期）	35 円	17 円 50 銭	52 円 50 銭

(※) 平成 29 年 2 月期は 9 ヶ月の変則決算です。

以上